

テーマ
2
連携・戦略・
情報発信について

市長

これからのソフト戦略を考えたときの中軸となるのが連携、戦略、情報発信だと思います。それぞれの立場や関わっている分野で、活動していることや感じていることについてお聞かせください。

大宮さん

私たちはいつも、新しいことを始めるときに、皆さんがどれくらい動いてくれるのか、喜んでもらえるのか、という反応を見ています。それを元に、徐々に規模を大きくしていき、さまざまなジャンルのイベントや、情報発信を仕掛けています。

北海道新幹線×nittan地域戦略会議

平成27年度の北海道新幹線函館開業とその後の札幌延伸を見据え、胆振日高地域への普及効果を最大限に高めるため、官民一体の組織として昨年の10月3日に設立。「かける、新 みらい。」をコンセプトに、情報・観光・交通の3本柱と地域の連携を重点戦略として、地域経済の活性化のため活動している。

コンセプトの「かける」には、地域と地域の魅力を「かける」、スピード感をもって「駆ける」、あるべき姿を実現するために「懸ける」という意味が込められており、胆振日高全18市町が連携するイメージを持たせるために、18色の枠を「×(かける)」で合わせたデザインとなっている。

▼コンセプトを説明する
井元さん



▲18市町の関係者が出席した設立総会の様子

その中で

感じることは、積極的な情報発信が大切だということですね。例えばメディアをうまく使ってどんな情報を流すことで、もっと人が集まってくるし、まち全体を活性化させられるような企画になると思います。

永井さん

私も効果的な情報発信の方法を考へながら、コンテンツを作っています。ノーザンホースパークマラソンでは、初回の参加者は千500人でしたが、3回目となる昨年は2千500人と増加しました。そのうち半分以上が



▲12月15日に開催されたとまチョップ感謝祭の様子

市長

飛行機やフェリーで訪れた道外の方という、北海道では凄く珍しいマラソン大会になりました。大きな告知を仕掛けなくても、インターネット上でランナーが集まるサイトに上手に発信することで、盛り上がりつつありました。コンテンツの魅力作りも大事ですが、それをどうやって伝えるかが重要だと思えますね。

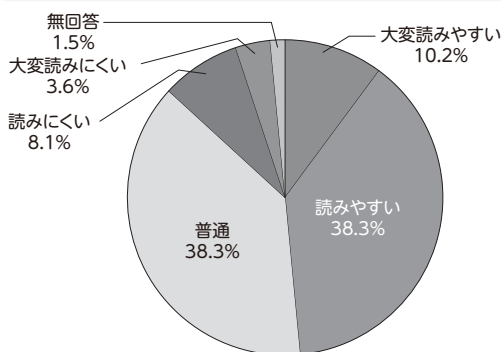


▲ノーザンホースパークマラソンの様子

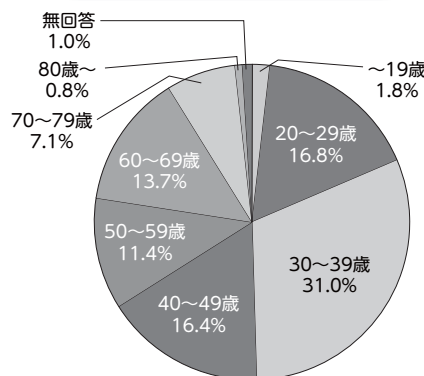
井元さん

連携という面ではnittan(上記参照)の活動に、地域の魅力を高めていくという事で関わっています。日胆の18市町全てという大きな規模で官民の連携が実現できたことは、とても素晴らしいと感じています。民間企業のプロジェクトなどにも関わらせていただいた経験から、この様な取り組みをかたちにするとときに一番大事なことは、統一されたビジョ

広報紙のデザインなどの読みやすさは
どうですか？



年齢を教えてください



広報とまこまい6月号にてアンケートを実施したところ、394人の皆さんから回答をいただき、ありがとうございます。いただいた結果を参考に、より良い広報紙のため検討しているところです。今回は集計結果の一部をご紹介します。

広報とまこまい読者アンケート